

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-058036

(43)Date of publication of application : 28.02.2003

(51)Int.Cl.

G09B 7/04  
 G06F 17/60  
 G09B 5/06  
 G09B 5/14  
 H04N 7/173

(21)Application number : 2001-248171

(71)Applicant : NEC SOFT LTD

(22)Date of filing : 17.08.2001

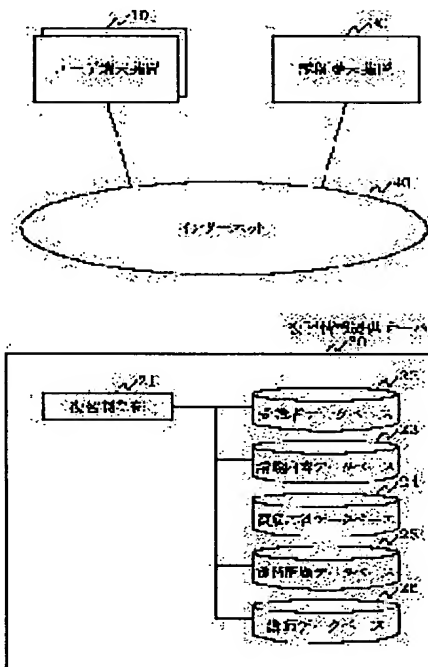
(72)Inventor : IIDA YUKIO

## (54) REVIEW METHOD VIA THE INTERNET, REVIEW INFORMATION SUPPLYING SERVER AND REVIEW PROGRAM

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To have an effective review via the Internet after attending a course of lecture class.

**SOLUTION:** A review information supplying server is accessed from a user terminal 10 via the Internet 40 by a user after attending a course, and is equipped with a means to discriminate, when the user requests for a review test, an item to be reviewed by giving the review test to the user and transmit to the user terminal 10 the part of the course text corresponding to the item and the corresponding part of the lecturer's supplementary explanation information during the course, and a means, when the user requests for review by a keyword, to display the corresponding page of the course text on the user terminal 10 by carrying out key word retrieval after receiving the content which the user desires to review and also to transmit to the user terminal 10 the content of supplementary explanation by the lecturer during the course relating to the corresponding page when the user presses a supplementary explanation button on the displayed screen.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号  
特開2003-58036  
(P2003-58036A)

(43)公開日 平成15年2月28日(2003.2.28)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-ト*(参考)
G 0 9 B 7/04	Z E C	G 0 9 B 7/04	Z E C 2 C 0 2 8
G 0 6 F 17/60	1 2 8	G 0 6 F 17/60	1 2 8 5 C 0 6 4
	3 3 2		3 3 2
	5 0 2		5 0 2
G 0 9 B 5/06		G 0 9 B 5/06	

審査請求 有 請求項の数13 O L (全 13 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-248171(P2001-248171)

(22)出願日 平成13年8月17日(2001.8.17)

(71)出願人 000232092

エヌイーシーソフト株式会社  
東京都江東区新木場一丁目18番6号

(72)発明者 飯田 幸雄

東京都江東区新木場一丁目18番6号 エヌ  
イーシーソフト株式会社内

(74)代理人 100082935

弁理士 京本 直樹 (外2名)

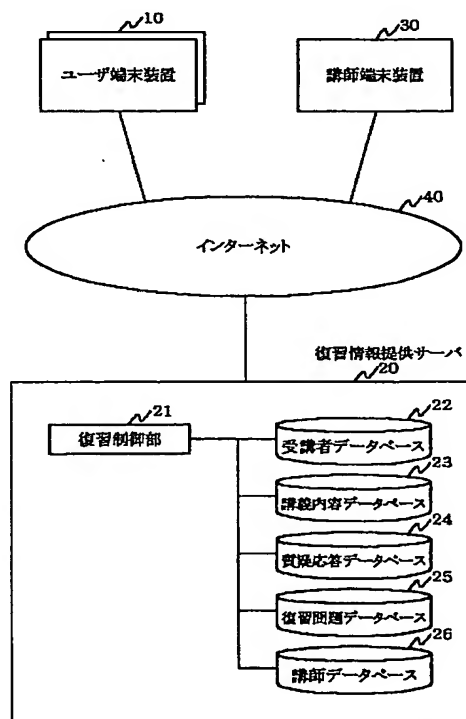
Fターム(参考) 2C028 AA12 BA01 BB04 BB06 BC01  
BC04 BD02 CA12  
5C064 BA07 BB10 BC01 BC18 BC20  
BC25 BD02 BD08 BD09

(54)【発明の名称】 インターネットによる復習方法、復習情報提供サーバおよび復習プログラム

(57)【要約】

【課題】講習会受講後にインターネットを介した効率的な復習を行う。

【解決手段】復習情報提供サーバ20は、講習会受講後のユーザによりユーザ端末装置10からインターネット40を介してアクセスされ、復習テストの要求があった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とをユーザ端末装置10に送信する手段と、キーワードによる復習要求があった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁をユーザ端末装置10に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容をユーザ端末装置10に送信する手段とを有する。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 ユーザ端末装置からインターネット上に開設された復習用ホームページにアクセスし、復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを自動的に前記ユーザ端末装置に表示することを特徴とするインターネットによる復習方法。

【請求項2】 ユーザ端末装置からインターネット上に開設された復習用ホームページにアクセスし、復習したい内容をユーザに入力されることによりキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンをユーザに押下されることにより、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に表示することを特徴とするインターネットによる復習方法。

【請求項3】 ユーザ端末装置からインターネット上に開設された復習用ホームページにアクセスして復習を行うインターネットによる復習方法であって、前記ユーザ端末装置が前記復習用ホームページにアクセスしたときに、復習内容のメニューを表示し、ユーザが復習内容を選択する第1の工程と、

前記第1の工程において、復習テストが選択されたときに、復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを自動的に前記ユーザ端末装置に表示する第2の工程と、

前記第1の工程の選択において、キーワードによる復習が選択されたときに、復習したい内容をユーザに入力されることによりキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンをユーザに押下されることにより、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に表示する第3の工程とを有することを特徴とするインターネットによる復習方法。

【請求項4】 ユーザ端末装置からインターネット上に開設された復習用ホームページにアクセスして復習を行うインターネットによる復習方法であって、前記ユーザ端末装置が前記復習用ホームページにアクセスしたときに、講習会受講者であるかを認証する第1の工程と、

前記認証後に復習内容のメニューを表示し、ユーザが復習内容を選択する第2の工程と、

前記第2の工程において、復習テストが選択されたときに、復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを自動的に前記ユーザ端末装置に表示する第3の工程と、

前記第2の工程の選択において、キーワードによる復習が選択されたときに、復習したい内容をユーザに入力されることによりキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンをユーザに押下されることにより、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に表示する第4の工程と、

前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユーザに料金を課金する第5の工程とを有することを特徴とするインターネットによる復習方法。

【請求項5】 ユーザ端末装置からインターネット上に開設された復習用ホームページにアクセスして復習を行うインターネットによる復習方法であって、

前記ユーザ端末装置が前記復習用ホームページにアクセスしたときに、講習会受講者であるかを認証する第1の工程と、

前記認証後に復習内容のメニューを表示し、ユーザが復習内容を選択する第2の工程と、

前記第2の工程において、復習テストが選択されたときに、復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを自動的に前記ユーザ端末装置に表示する第3の工程と、

前記第2の工程の選択において、キーワードによる復習が選択されたときに、復習したい内容をユーザに入力されることによりキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンをユーザに押下されることにより、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に表示する第4の工程と、

前記第2の工程において、講義テキストによる復習が選択されたときに、講義テキストを前記ユーザ端末装置に表示し、ユーザが講義テキストの各頁に対応して表示された画面上の補足説明ボタンを押下することにより、前記頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に表示する第5の工程と、

前記第2の工程において、講習会再現情報による復習が選択されたときに、講習会の状況を映像、音声化した講習会再現情報を前記ユーザ端末装置に表示する第6の工程と、

前記第2の工程において、チャットによる復習が選択されたときに、他のユーザや講師との間で、質疑応答や講習会の感想等のリアルタイムなコミュニケーションを行う第7の工程と、

前記第2の工程において、質疑応答内容による復習が選択されたときに、講習会において行われた質疑応答内容を前記ユーザ端末装置に表示する第8の工程と、

前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユー

ザに料金を課金する第9の工程とを有することを特徴とするインターネットによる復習方法。

【請求項6】 ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバであって、ユーザにより前記ユーザ端末装置からアクセスされ、復習テストの要求があった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段とを有することを特徴とする復習情報提供サーバ。

【請求項7】 ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバであって、ユーザにより前記ユーザ端末装置からアクセスされ、キーワードによる復習要求があった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段とを有することを特徴とする復習情報提供サーバ。

【請求項8】 ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバであって、ユーザにより前記ユーザ端末装置からアクセスされ、復習テストの要求があった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段と、キーワードによる復習要求があった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段とを有することを特徴とする復習情報提供サーバ。

【請求項9】 ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバであって、ユーザによる前記ユーザ端末装置からのアクセス時に、講習会受講者であるかを認証する手段と、ユーザから復習テストの要求があった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段と、キーワードによる復習要求があった場合、ユーザから復

習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段と、

前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユーザに料金を課金する手段とを有することを特徴とする復習情報提供サーバ。

【請求項10】 ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバであって、

ユーザによる前記ユーザ端末装置からのアクセス時に、講習会受講者であるかを認証する手段と、

前記認証後に復習内容のメニューを表示し、ユーザが選択した復習内容を受信する手段と、

前記選択された復習内容が復習テストであった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段と、

前記選択された復習内容がキーワードによる復習であった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段と、

前記選択された復習内容が講義テキストによる復習であった場合、講習会で教材として使用された講義テキスト情報を前記ユーザ端末装置に送信し、講義テキストの各頁に対応して表示された画面上の補足説明ボタンがユーザにより押下されたときに、前記頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段と、

前記選択された復習内容が講習会再現情報による復習であった場合、講習会の状況を映像、音声化した講習会再現情報を前記ユーザ端末装置に送信する手段と、

前記選択された復習内容がチャットによる復習であった場合、他のユーザや講師との間で、質疑応答や講習会の感想等のリアルタイムなコミュニケーションを制御する手段と、

前記選択された復習内容が質疑応答内容による復習であった場合、講習会において行われた質疑応答内容情報を前記ユーザ端末装置に送信する手段と、

前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユーザに料金を課金する手段とを有することを特徴とする復習情報提供サーバ。

【請求項11】 ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供

サーバに適用される復習プログラムであって、ユーザにより前記ユーザ端末装置からアクセスされ、復習テストの要求があった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段、

キーワードによる復習要求があった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段、としてコンピュータを機能させるための復習プログラム。

【請求項12】 ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバに適用される復習プログラムであって、

ユーザによる前記ユーザ端末装置からのアクセス時に、講習会受講者であるかを認証する手段、

ユーザから復習テストの要求があった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段、

キーワードによる復習要求があった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段、

前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユーザに料金を課金する手段、としてコンピュータを機能させるための復習プログラム。

【請求項13】 ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバに適用される復習プログラムであって、

ユーザによる前記ユーザ端末装置からのアクセス時に、講習会受講者であるかを認証する手段、

前記認証後に復習内容のメニューを表示し、ユーザが選択した復習内容を受信する手段、

前記選択された復習内容が復習テストであった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段、

前記選択された復習内容がキーワードによる復習であった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末

装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段、

前記選択された復習内容が講義テキストによる復習であった場合、講習会で教材として使用された講義テキスト情報を前記ユーザ端末装置に送信し、講義テキストの各頁に対応して表示された画面上の補足説明ボタンがユーザにより押下されたときに、前記頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段、

前記選択された復習内容が講習会再現情報による復習であった場合、講習会の状況を映像、音声化した講習会再現情報を前記ユーザ端末装置に送信する手段、

前記選択された復習内容がチャットによる復習であった場合、他のユーザや講師との間で、質疑応答や講習会の感想等のリアルタイムなコミュニケーションを制御する手段、

前記選択された復習内容が質疑応答内容情報による復習であった場合、講習会において行われた質疑応答内容情報を前記ユーザ端末装置に送信する手段、

前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユーザに料金を課金する手段、としてコンピュータを機能させるための復習プログラム。

#### 【発明の詳細な説明】

#### 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットによる復習方法、復習情報提供サーバおよび復習プログラムに関し、特に講習会場での受講後に不明点や確認したい点等をユーザ端末からインターネットを介して効率よく復習する、インターネットによる復習方法、復習情報提供サーバおよび復習プログラムに関する。

#### 【0002】

【従来の技術】従来、講習会等に出席し受講後に自宅等で復習する場合は、受講時に配布された講義テキストや受講時にメモした講師の補足説明等を、自宅で読み返すことが一般的に行われている。しかし、講義テキストを最初から再度読み返すのは時間がかかり効率的であるとは言えず、講師の補足説明等のメモも受講しながら書き留めるため、後で読むと意味不明となっていたりして理解できない場合がある。また、受講時の質疑応答における受講者の質問や講師の回答等についても、自宅に帰るとそれらの内容をよく思い出せないといったことや、受講時に不明点を講師に質問したくても時間の関係等によりできずに不明のままとなってしまうようなこともある。さらに、受講によりどの程度自分が内容を習得し、どの部分が理解できていないのかが自分ではよく分からないため、それに対応した効率的な復習ができないという問題もある。

【0003】また、特開2001-51581号公報に

記載されたインターネットによる学習システムにおいては、インターネットを利用し、本部のサーバ内に各学習者個別のホームページを設け、ホームページに提供された講座のテキストを学習者端末から学習する技術が開示されている。しかし、一度学習した後の復習をどのように効率的に行うかという点については何ら開示されておらず、この公報に記載の発明においても、上述したような問題点が解決されていないことに変わりはない。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、以上述べた問題点を解決し、効率的な復習をインターネットを利用することにより実現する、インターネットによる復習方法、復習情報提供サーバおよび復習プログラムを提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の第1のインターネットによる復習方法は、ユーザ端末装置からインターネット上に開設された復習用ホームページにアクセスし、復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを自動的に前記ユーザ端末装置に表示することを特徴とする。

【0006】本発明の第2のインターネットによる復習方法は、ユーザ端末装置からインターネット上に開設された復習用ホームページにアクセスし、復習したい内容をユーザに入力されることによりキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンをユーザに押下されることにより、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に表示することを特徴とする。

【0007】本発明の第3のインターネットによる復習方法は、ユーザ端末装置からインターネット上に開設された復習用ホームページにアクセスして復習を行うインターネットによる復習方法であって、前記ユーザ端末装置が前記復習用ホームページにアクセスしたときに、復習内容のメニューを表示し、ユーザが復習内容を選択する第1の工程と、前記第1の工程において、復習テストが選択されたときに、復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを自動的に前記ユーザ端末装置に表示する第2の工程と、前記第1の工程の選択において、キーワードによる復習が選択されたときに、復習したい内容をユーザに入力されることによりキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンをユーザに押下されることにより、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に表示する第3の工程とを有する。

【0008】本発明の第4のインターネットによる復習方法は、ユーザ端末装置からインターネット上に開設された復習用ホームページにアクセスして復習を行うインターネットによる復習方法であって、前記ユーザ端末装置が前記復習用ホームページにアクセスしたときに、講習会受講者であるかを認証する第1の工程と、前記認証後に復習内容のメニューを表示し、ユーザが復習内容を選択する第2の工程と、前記第2の工程において、復習テストが選択されたときに、復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを自動的に前記ユーザ端末装置に表示する第3の工程と、前記第2の工程の選択において、キーワードによる復習が選択されたときに、復習したい内容をユーザに入力されることによりキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンをユーザに押下されることにより、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に表示する第4の工程と、前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユーザに料金を課金する第5の工程とを有する。

【0009】本発明の第5のインターネットによる復習方法は、ユーザ端末装置からインターネット上に開設された復習用ホームページにアクセスして復習を行うインターネットによる復習方法であって、前記ユーザ端末装置が前記復習用ホームページにアクセスしたときに、講習会受講者であるかを認証する第1の工程と、前記認証後に復習内容のメニューを表示し、ユーザが復習内容を選択する第2の工程と、前記第2の工程において、復習テストが選択されたときに、復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを自動的に前記ユーザ端末装置に表示する第3の工程と、前記第2の工程の選択において、キーワードによる復習が選択されたときに、復習したい内容をユーザに入力されることによりキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンをユーザに押下されることにより、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に表示する第4の工程と、前記第2の工程において、講義テキストによる復習が選択されたときに、講義テキストを前記ユーザ端末装置に表示し、ユーザが講義テキストの各頁に対応して表示された画面上の補足説明ボタンを押下することにより、前記頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に表示する第5の工程と、前記第2の工程において、講習会再現情報による復習が選択されたときに、講習会の状況を映像、音声化した講習会再現情報を前記ユーザ端末装



置に表示する第6の工程と、前記第2の工程において、チャットによる復習が選択されたときに、他のユーザや講師との間で、質疑応答や講習会の感想等のリアルタイムなコミュニケーションを行う第7の工程と、前記第2の工程において、質疑応答内容による復習が選択されたときに、講習会において行われた質疑応答内容を前記ユーザ端末装置に表示する第8の工程と、前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユーザに料金を課金する第9の工程とを有する。

【0010】本発明の第1の復習情報提供サーバは、ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバであって、ユーザにより前記ユーザ端末装置からアクセスされ、復習テストの要求があった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段を有する。

【0011】本発明の第2の復習情報提供サーバは、ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバであって、ユーザにより前記ユーザ端末装置からアクセスされ、キーワードによる復習要求があった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段を有する。

【0012】本発明の第3の復習情報提供サーバは、ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバであって、ユーザにより前記ユーザ端末装置からアクセスされ、復習テストの要求があった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段と、キーワードによる復習要求があった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段とを有する。

【0013】本発明の第4の復習情報提供サーバは、ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバであって、ユーザによる前記ユーザ端末装置からのアクセス時に、講習会受講者であるかを認証する手段と、ユーザから復習テストの要求があった場合、ユーザに対する復習テス

トを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段と、キーワードによる復習要求があった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段と、前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユーザに料金を課金する手段とを有する。

【0014】本発明の第5の復習情報提供サーバは、ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバであって、ユーザによる前記ユーザ端末装置からのアクセス時に、講習会受講者であるかを認証する手段と、前記認証後に復習内容のメニューを表示し、ユーザが選択した復習内容を受信する手段と、前記選択された復習内容が復習テストであった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段と、前記選択された復習内容がキーワードによる復習であった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段と、前記選択された復習内容が講義テキストによる復習であった場合、講習会で教材として使用された講義テキスト情報を前記ユーザ端末装置に送信し、講義テキストの各頁に対応して表示された画面上の補足説明ボタンがユーザにより押下されたときに、前記頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段と、前記選択された復習内容が講習会再現情報による復習であった場合、講習会の状況を映像、音声化した講習会再現情報を前記ユーザ端末装置に送信する手段と、前記選択された復習内容がチャットによる復習であった場合、他のユーザや講師との間で、質疑応答や講習会の感想等のリアルタイムなコミュニケーションを制御する手段と、前記選択された復習内容が質疑応答内容による復習であった場合、講習会において行われた質疑応答内容情報を前記ユーザ端末装置に送信する手段と、前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユーザに料金を課金する手段とを有する。

【0015】本発明の第1の復習プログラムは、ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバに適用される復習

プログラムであって、ユーザにより前記ユーザ端末装置からアクセスされ、復習テストの要求があった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段、キーワードによる復習要求があった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段、としてコンピュータを機能させる。

【0016】本発明の第2の復習プログラムは、ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバに適用される復習プログラムであって、ユーザによる前記ユーザ端末装置からのアクセス時に、講習会受講者であるかを認証する手段、ユーザから復習テストの要求があった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段、キーワードによる復習要求があった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段、前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユーザに料金を課金する手段、としてコンピュータを機能させる。

【0017】本発明の第3の復習プログラムは、ユーザ端末装置からインターネットを介してアクセスされ、復習情報を提供する復習情報提供サーバに適用される復習プログラムであって、ユーザによる前記ユーザ端末装置からのアクセス時に、講習会受講者であるかを認証する手段、前記認証後に復習内容のメニューを表示し、ユーザが選択した復習内容を受信する手段、前記選択された復習内容が復習テストであった場合、ユーザに対する復習テストを行うことにより復習が必要な項目を判別し、この項目に対応する講義テキスト部分と講習時における講師補足説明情報の該当部分とを前記ユーザ端末装置に送信する手段、前記選択された復習内容がキーワードによる復習であった場合、ユーザから復習したい内容を受信してキーワード検索を行い、講義テキストの該当頁を前記ユーザ端末装置に表示するとともに、表示された画面上の補足説明ボタンがユーザに押下されたときに、前記該当頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段、前記選択された復習内容が講義テキストによる復習であった場

合、講習会で教材として使用された講義テキスト情報を前記ユーザ端末装置に送信し、講義テキストの各頁に対応して表示された画面上の補足説明ボタンがユーザにより押下されたときに、前記頁に関連して講師が講習会において補足説明を行った内容を前記ユーザ端末装置に送信する手段、前記選択された復習内容が講習会再現情報による復習であった場合、講習会の状況を映像、音声化した講習会再現情報を前記ユーザ端末装置に送信する手段、前記選択された復習内容がチャットによる復習であった場合、他のユーザや講師との間で、質疑応答や講習会の感想等のリアルタイムなコミュニケーションを制御する手段、前記選択された復習内容が質疑応答内容情報による復習であった場合、講習会において行われた質疑応答内容情報を前記ユーザ端末装置に送信する手段、前記選択された復習内容毎に前記ユーザ端末装置のユーザに料金を課金する手段、としてコンピュータを機能させる。

【0018】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

【0019】図1は、本発明の一実施の形態のシステム構成を示す図であり、ユーザ端末装置10と、復習情報提供サーバ20と、講師端末装置30と、これらを相互に接続するインターネット40とを備えている。

【0020】ユーザ端末装置10は、ユーザにより使用されるパーソナルコンピュータ等の情報処理装置である。このユーザ端末装置10は、復習情報提供サーバ20がインターネット40上に開設している復習用ホームページにアクセス、入力する手段と、電子メールを受信する手段と、ホームページ画面情報や電子メール等を表示する表示手段と、音声出力手段とを含んで構成されている。

【0021】復習情報提供サーバ20は、各種講習会を開催する教育業者により備えられるサーバ等の情報処理装置であり、インターネット40上に復習用ホームページを開設している。この復習情報提供サーバ20は、復習制御部21と、受講者データベース22と、講義内容データベース23と、質疑応答データベース24と、復習問題データベース25と、講師データベース26とを備えている。

【0022】復習制御部21は、ユーザ端末装置10や講師端末装置30からのインターネット40を介した復習用ホームページへのアクセス時におけるアクセス可否を判別する認証手段や、復習用ホームページで提供する各種復習内容の処理を実行する復習受付実行手段、電子メールの生成、送信手段、提供した復習内容に基いて課金処理を行う課金手段、を備えている。

【0023】なお、復習情報提供サーバ20は、図示していない記憶手段に記憶された復習プログラムにより制御され、復習プログラムは復習制御部21の上記の各手



段の動作を制御する。

【0024】受講者データベース22には、受講者毎に、受講者名、住所、電子メールアドレス、ID、パスワード、引き落とし金融機関口座番号等の課金情報と、受講した講習会名とが対応付けられて予め格納されている。これらの受講者情報は例えば受講申込時にユーザから登録される。

【0025】講義内容データベース23には、講習会で使用した講義テキストを電子情報化したものと、講師が講習会で講義テキストとは別に説明した補足説明情報と、講習会の状況を音声化または映像、音声化した講習会再現データとが、各講習会に対応付けられて格納されている。これらのデータは講習会終了時に教育業者により登録される。なお、補足説明情報は、該当する講義テキストの頁にそれぞれ対応した形で識別番号が付されて補足説明内容が登録されており、講師から補足説明があった講義テキストの頁には、各補足説明情報に対応した補足説明ボタンが表示されている。

【0026】質疑応答データベース24には、講習会における受講生からの質問と講師からの回答が、各講習会に対応付けられて格納されている。これらのデータは講習会終了時に教育業者により登録される。また、講習会終了後の復習時における新たな質問、回答についても追加登録される。

【0027】復習問題データベース25には、講習会受講後に行う復習問題が講習会毎に格納されている。また、復習問題の項目毎に、正解および講義テキストの関連する頁や関連する講師補足説明情報の識別番号を対応付けたデータを格納している。(講師補足説明がされなかった項目については、講義テキスト関連頁のみが格納されている)。

【0028】講師データベース26には、講師毎に、講師名、住所、電子メールアドレス、ID、パスワードと、担当した講習会名とが対応付けられて予め格納されている。これらの講師情報は教育業者により予め登録される。

【0029】講師端末装置30は、講習会の講師により使用されるパーソナルコンピュータ等の情報処理装置である。この講師端末装置30は、復習情報提供サーバ20がインターネット40上に開設している復習用ホームページにアクセス、入力する手段と、電子メールを受信する手段と、ホームページ画面情報や電子メール等を表示する表示手段とを含んで構成されている。

【0030】次に、本発明の一実施の形態の動作について図1～図8を参照して詳細に説明する。

【0031】図2は、本発明の一実施の形態の全体動作を示すフローチャートである。図3は復習テスト選択時の動作を示すフローチャートであり、図4は質疑応答資料選択時の動作を示すフローチャート、図5はキーワードによる復習選択時の動作を示すフローチャート、図6

はチャットによる復習選択時の動作を示すフローチャート、図7は講習会再現による復習選択時の動作を示すフローチャート、図8は講義テキストによる復習選択時の動作を示すフローチャートである。

【0032】最初に、本発明の一実施の形態の全体動作について図1および図2を参照して説明する。

【0033】本発明は、例えば、ユーザが講習会場に出かけて講義テキストによる講習を受講し、その後帰宅して自宅等のユーザ端末からインターネットを介して受講内容の復習を行う場合を想定している。まず、教育業者は講習会が終了すると、使用した講義テキストや、講師が講習会で説明した補足資料、講習会の状況をビデオ、音声化したデータを講義内容データベース23に、また、講習会における質疑応答内容を質疑応答データベース24に、それぞれ各講習会に対応付けて格納する(図2のステップA1)。この他の受講者データベース22、復習問題データベース25、講師データベース26に格納されるデータについては、講習会開催前に予め登録される。

【0034】講習会を受講したユーザは、自宅等に設置されたユーザ端末装置10から、復習情報提供サーバ20がインターネット40上に開設している復習用ホームページにアクセスし、受講した講習会名、IDおよびパスワードを入力、送信する(ステップA2)。復習情報提供サーバ20の復習制御部21は、送信された講習会名、ID、パスワードと、受講者データベース22に予め登録されたこれら情報とが一致するかを照合し、一致した場合に復習用メニュー画面情報をユーザ端末装置10に送信する。一致しなかった場合は、再度入力し直すようメッセージをユーザ端末装置10に送信し、ユーザに再入力を促す(ステップA3)。

【0035】ユーザ端末装置10は受信した復習用メニューを表示し、ユーザは自分が復習したい内容を画面上で選択する。この復習用メニュー画面情報としては、例えば、復習したい講習会名の選択と、復習テスト実施、質疑応答資料の入手、キーワードによる復習実施、チャットによる復習実施、講習会再現による復習実施、講義テキストによる復習実施等の復習内容とを含み、これらのいずれかの復習内容を選択する。また、画面情報として、各復習内容の料金も併せて表示される。なお、これら復習内容の詳細については、後述する図3～図8による動作説明において説明する(ステップA4)。

【0036】復習制御部21は、復習用メニュー画面でユーザにより選択されたデータを受信し、そのデータに対応する処理を実行する。すなわち、復習テスト実施の場合は図3に示す処理を(ステップA5、A6)、質疑応答資料の入手の場合は図4に示す処理を(ステップA7、A8)、キーワードによる復習実施の場合は図5に示す処理を(ステップA9、A10)、チャットによる復習実施の場合は図6に示す処理を(ステップA11、

A12)、講習会再現による復習実施の場合は図7に示す処理を(ステップA13、A14)、講義テキストによる復習実施の場合は図8に示す処理を(ステップA15、A16)、それぞれ実行する。ユーザ端末装置10においても、ユーザが選択した復習実施項目を実行する(ステップA17)。なお、ステップA5～ステップA17の動作については、図3～図8を用いて後述する。

【0037】ステップA5～ステップA17による復習が終了すると、復習制御部21はユーザに対する課金処理を行う。このとき、実施された復習内容の料金はステップA4で表示された料金を取得し、ユーザの引き落とし金融機関口座番号等のユーザ課金情報については受講者データベース22により取得し、これらを課金情報として図示しない金融機関サーバに送信して、ユーザの口座から教育業者の口座への振込処理等による課金処理を依頼する(ステップA18)。

【0038】次に、復習テスト選択時の動作(図2のステップA5、A6)について図1および図3を参照して説明する。

【0039】復習制御部21は、図2のステップA4で講習会名および復習テスト実施の情報を受信し、復習問題データベース25から該当する講習会の復習問題を取得してユーザ端末装置10に送信する(図3のステップB1)。ユーザは、WEB画面上で復習問題に対する回答を入力し復習情報提供サーバ20に送信する(ステップB2)。復習制御部21は、送信された復習問題の回答を復習問題データベース25に格納された正解を参照して正誤判定を行う。そして、回答が間違っていた問題に対しては、復習問題データベース25から講義テキストの関連する頁や関連する講師補足説明情報の識別番号を取得し、講義内容データベース23に格納されている講義テキストの該当頁や、該当する講師補足説明情報の画面情報を取得する。なお、関連するとは、その問題の正解や関連情報等が説明されている部分のことである。復習制御部21は、この正誤判定結果や間違った問題に関連する講義テキスト部分と、関連する講師補足説明情報とを、ユーザ端末装置10に送信する。このとき、講師補足説明がされなかった項目については、復習問題データベース25に講師補足説明情報の識別番号が登録されていないため、講義テキスト部分のみが送信されることになる(ステップB3)。ユーザは、ユーザ端末装置10に表示された正誤判定結果を参照し、続いて同時に送信された間違った問題に関連する講義テキスト部分や講師補足説明情報を再度学習する(ステップB4)。

【0040】このように、復習テストの結果により未だ自分が理解していない、換言すれば復習を必要とする部分があると同時に、復習を必要とする講義テキスト部分や講師補足説明部分が自動的に表示されるため、効率的な復習が可能となる。

【0041】次に、質疑応答資料選択時の動作(図2の

ステップA7、A8)について図1および図4を参照して説明する。

【0042】復習制御部21は、図2のステップA4で講習会名および質疑応答資料の入手の情報を受信し、質疑応答データベース24から該当する講習会の質疑応答資料を取得してユーザ端末装置10に送信する(図4のステップC1)。ユーザは、ユーザ端末装置10に表示された質疑応答資料を参照する。この質疑応答資料は、講習に関する受講生からの質問や講師からの回答内容をまとめたもので、講習会における質疑応答だけでなく、講習会終了後に各ユーザからインターネットを介して質問された内容も含まれている(ステップC2)。ユーザは、自分が質問したかった内容がこれらの質疑応答資料に含まれていた場合は終了し、含まれていなかった場合は、例えば画面上で質問ボタンをクリックし、質問内容とユーザIDを入力して復習情報提供サーバ20に送信する(ステップC3→ステップC4)。復習制御部21は、送信された新たな質問およびユーザIDを質疑応答データベース24の該当する講習会の質疑応答データに追加登録するとともに、講師データベース26から該当する講習会の講師名と電子メールアドレスとを取得し、新たな質問を電子メールとして講師の講師端末装置30に送信し、回答の登録を依頼する(ステップC5)。

【0043】講師は、講師端末装置30から復習情報提供サーバ20がインターネット40上に開設している復習用ホームページにアクセスし、講習会名、IDおよびパスワードを入力、送信する。復習制御部21は、送信された講習会名、ID、パスワードと、講師データベース26に予め登録されたこれら情報とが一致するかを照合し、一致した場合に復習用メニュー画面情報を講師端末装置30に送信する。一致しなかった場合は、再度入力し直すようメッセージを講師端末装置30に送信し、講師に再入力を促す。講師端末装置30は受信した復習用メニューを表示し、講師は画面上で質問に対する回答を選択する。復習制御部21は、質疑応答データベース24から該当する講習会の質疑応答資料を取得して、講師端末装置30に送信する。講師は、例えばその中の該当する質問項目と回答ボタンをクリックし回答内容を入力して、復習情報提供サーバ20に送信する(ステップC6)。復習制御部21は、送信された回答内容を質疑応答データベース24の該当する講習会の質疑応答データに追加登録するとともに、受講者データベース22からステップC5で登録されたユーザIDに該当する受講者名と電子メールアドレスとを取得し、講師からの回答内容を電子メールとしてユーザ端末装置10に送信する(ステップC7)。ユーザは、ユーザ端末装置10により受診した電子メールを表示し、講師からの回答内容を参照する(ステップC8)。

【0044】このように、講習会受講後に不明点や確認したい点を講師に質問したい場合、まず自分と同じ質問

がされていないかをホームページの質疑応答資料により確認し、同じ質問が無ければホームページ上で質問し、それに対する講師の回答をホームページ上で参照できるとともに、電子メールで質問したユーザにも通知されるため、講習会受講後の効率的な復習が可能となる。

【0045】次に、キーワードによる復習選択時の動作（図2のステップA9、A10）について図1および図5を参照して説明する。

【0046】復習制御部21は、図2のステップA4で講習会名およびキーワードによる復習実施の情報を受信し、キーワード入力画面をユーザ端末装置10に送信する（図5のステップD1）。ユーザは、画面上で復習したい内容を入力して復習情報提供サーバ20に送信する。例えば、コンピュータの操作説明講習会を受講したユーザが電子メールの送信方法を復習したい場合は、「電子メールの送信」を入力する（ステップD2）。復習制御部21は、講義内容データベース23に格納されている該当講習会の講義テキストを検索し、電子メール、送信のキーワードが含まれている頁の画面情報をユーザ端末装置10に送信する（ステップD3）。ユーザは、ユーザ端末装置10に表示された講義テキスト情報を復習する（ステップD4）。画面上に補足説明ボタンが表示されている頁については、ユーザがそのボタンをクリックすることで、補足説明要求を講義テキスト名と頁情報とともに復習情報提供サーバ20に送信する。なお、補足説明ボタンは、講習会で講師が講義テキストのその頁を説明したときに、講義テキストに記載されている内容の他に口頭等により補足説明を行った頁に対して表示される（ステップD5→D6→D7）。復習制御部21は、受講した講義テキスト名と頁に対応して講義内容データベース23に登録されている補足説明情報を取得し、ユーザ端末装置10に送信する（ステップD8）。ユーザは、ユーザ端末装置10に表示された補足説明により復習を行う（ステップD9）。

【0047】このように、講習会受講後に不明点や確認したい点があるが、講義テキストのどの部分を参照すればよいのかが分からない場合等に、復習内容を入力しキーワードによる検索を行って講義テキストの該当頁を自動的に表示させたり、さらに、講義テキスト以外の講師の補足説明を表示させることにより、効率的な復習が可能となる。

【0048】次に、チャットによる復習選択時の動作（図2のステップA11、A12）について図1および図6を参照して説明する。

【0049】復習制御部21は、図2のステップA4で講習会名およびチャットによる復習実施の情報を受信する。このチャットを実施する日や時間帯は、復習メニュー上で予め表示されているか、講習会において予め受講者や講師に通知されるため、その時間になると講師端末装置30や参加を希望する他のユーザ端末装置10から

もチャットのメニューにアクセスされる（図6のステップE1）。復習制御部21は、チャットの実施時間帯であることを確認の上、チャット機能によりユーザ端末装置10と講師端末装置30間、またはユーザ端末装置10間の、チャットによる質疑応答や講習に関する感想のやりとり等を実行する（ステップE2）。なお、チャット機能については、インターネット上で一般に行われているリアルタイムな文字ベースの会話であり公知であるため、その詳細な説明は省略する。

【0050】このように、講習会受講後に不明点や確認したい点を講師に質問したい場合、チャットを利用することよりリアルタイムで質疑応答ができ、さらに、納得するまでその場で質問ができるため、講習会受講後の効率的な復習が可能となる。

【0051】次に、講習会再現による復習選択時の動作（図2のステップA13、A14）について図1および図7を参照して説明する。

【0052】復習制御部21は、図2のステップA4で講習会名および講習会再現による復習実施の情報を受信し、講義内容データベース23から該当する講習会再現データを取得して、ユーザ端末装置10に送信する（図7のステップF1）。ユーザは、ユーザ端末装置10により講習会再現状況を受信し、映像、音声による復習を行う（ステップF2）。

【0053】このように、講習会受講後にインターネットを介して講習会再現データを受信することにより、映像、音声による臨場感溢れる講習会受講状況の再現ができ、講習内容の再確認が可能となる。

【0054】次に、講義テキストによる復習選択時の動作（図2のステップA15、A16）について図1および図8を参照して説明する。

【0055】復習制御部21は、図2のステップA4で講習会名および講義テキストによる復習実施の情報を受信し、講義内容データベース23から該当する講義テキストを取得して、ユーザ端末装置10に送信する（図8のステップG1）。ユーザは、ユーザ端末装置10により受信、表示された講義テキストにより復習を行う。なお、このときユーザは頁めくりをしながら復習を行うが、図5のキーワードによる復習選択時の動作で説明した講師による補足説明情報も閲覧可能である（ステップG2）。

【0056】このように、講義テキストによる復習は、特に講義テキストを紛失したり、講義テキストが手元に無い場合や、講師の補足説明情報を再確認したい場合等に、有効な復習となる。

【0057】

【発明の効果】本発明は、講習会受講後にインターネットを介して復習用ホームページにアクセスし、復習テストによる講義テキストの未理解部分の自動表示や、講習会における質疑応答内容の閲覧や、講習会における講師

の補足説明内容の閲覧や、未理解キーワードによる講義テキスト記載頁検索や、ホームページ登録による質疑応答や、チャットによるリアルタイムな質疑応答や、映像や音声による講習会再現や、講義テキストの閲覧等を可能にしたため、講習会受講後の受講者の効率的な復習を可能にするという効果がある。

【0058】また、復習用ホームページの各メニューを有料化することで、講習会を主催する教育業者にとっても事業の拡大になり、売上増につながるという効果が得られる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態のシステム構成を示す図である。

【図2】本発明の一実施の形態の全体動作を示すフローチャートである。

【図3】復習テスト選択時の動作を示すフローチャートである。

【図4】質疑応答資料選択時の動作を示すフローチャートである。

【図5】キーワードによる復習選択時の動作を示すフローチャートである。

【図6】チャットによる復習選択時の動作を示すフローチャートである。

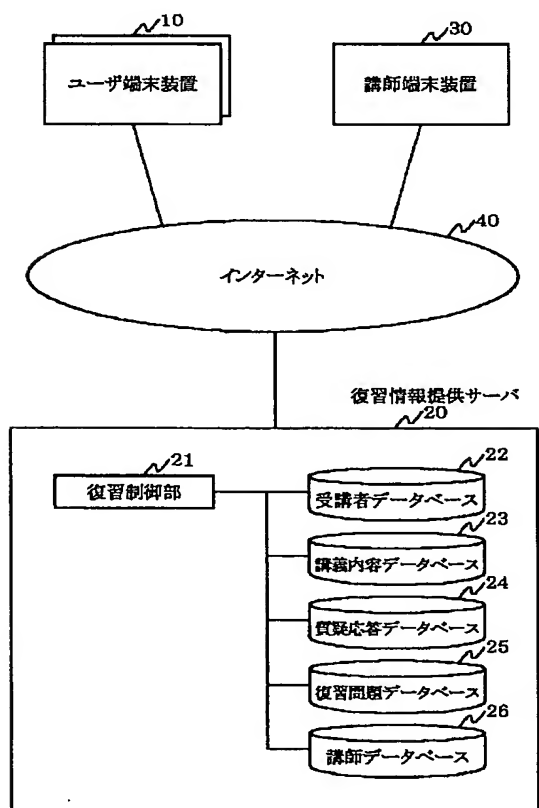
【図7】講習会再現による復習選択時の動作を示すフローチャートである。

【図8】講義テキストによる復習選択時の動作を示すフローチャートである。

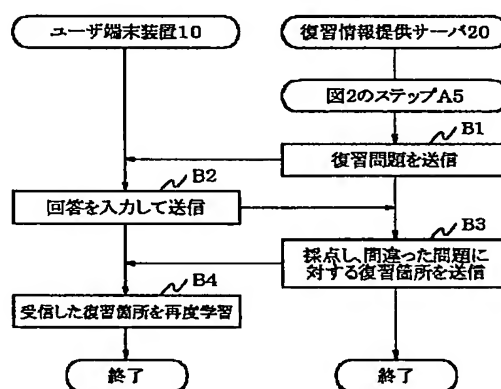
#### 【符号の説明】

- 10 ユーザ端末装置
- 20 復習情報提供サーバ
- 21 復習制御部
- 22 受講者データベース
- 23 講義内容データベース
- 24 質疑応答データベース
- 25 復習問題データベース
- 26 講師データベース
- 30 講師端末装置
- 40 インターネット

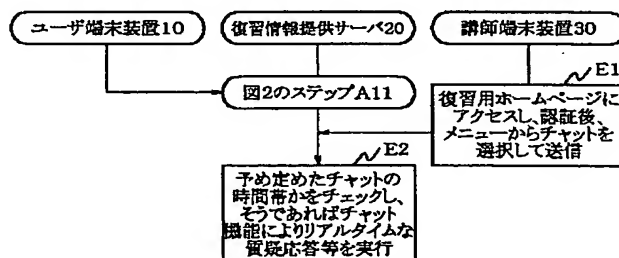
【図1】



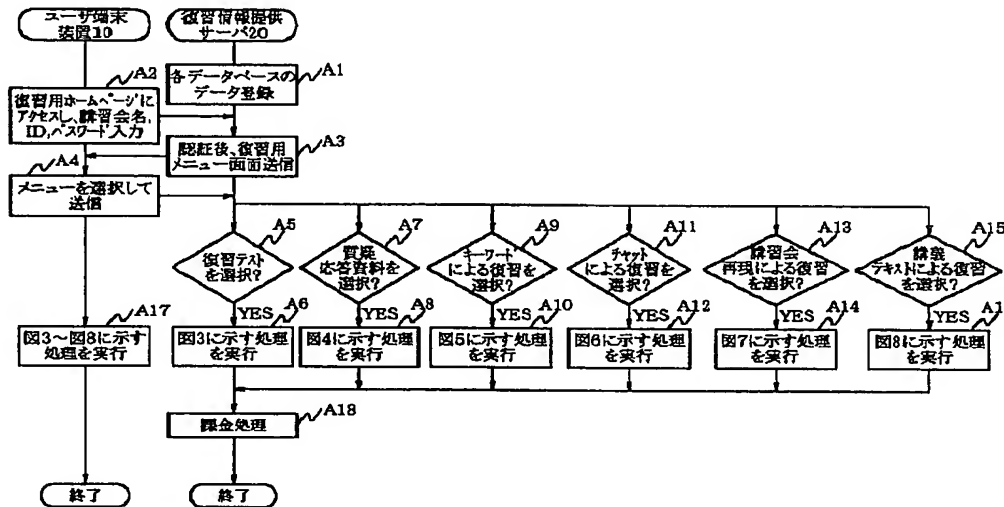
【図3】



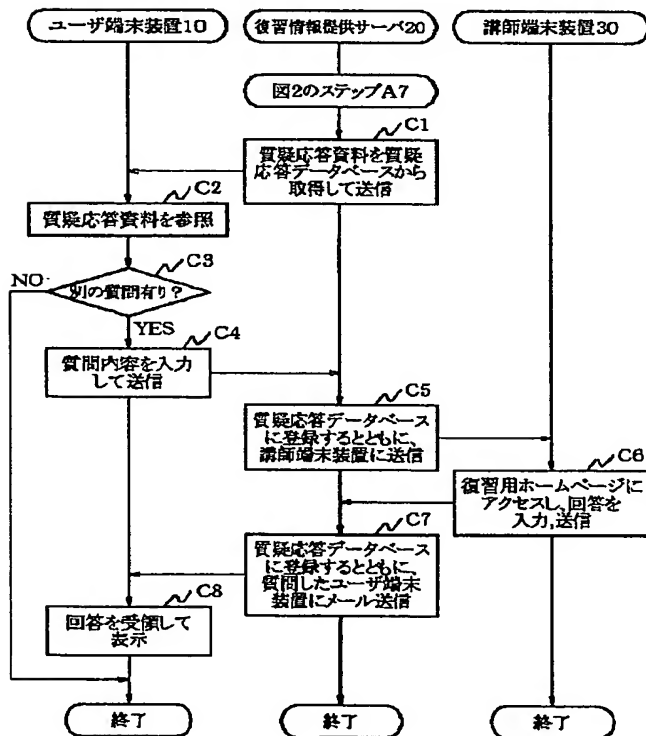
【図6】



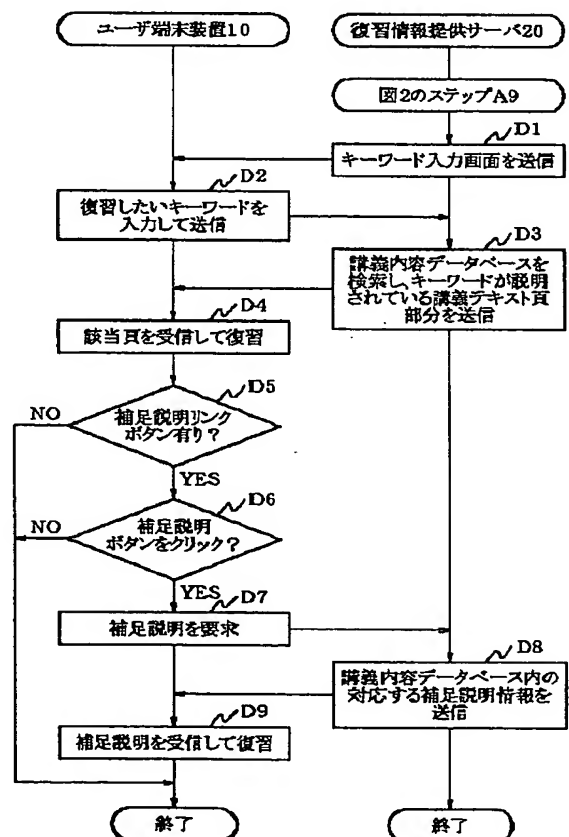
【図2】



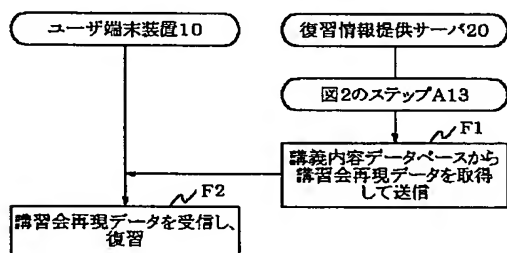
【図4】



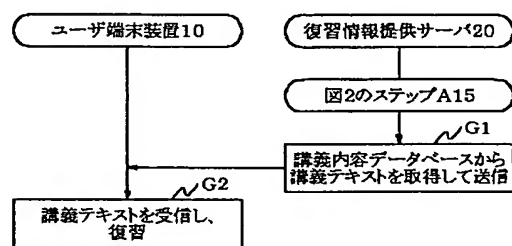
【図5】



【図7】



【図8】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

G09B 5/14

H04N 7/173

識別記号

610

640

F I

G09B 5/14

H04N 7/173

テマコード (参考)

610Z

640Z